

【生物資源科～5月～】



3年生物資源科、果樹専攻班です！

私たちは、総合実習の授業でブドウとナシを育てています。

校舎改築のため、現在、果樹園の一部を伐採しています。

果樹園の面積は狭くなってしまいましたが、私たち果樹専攻は、先生方と協力して一生懸命育てています。



最近では、小屋の荷物や農機具の移動とともに、ナシの摘果を行っています。

摘果とは、適度に若い果実を摘み取る作業のことです。

摘果を行うことで、一つひとつの果実に養分が行き届き、大きく、美味しい果実を作ることができます。



果樹園の様子を少しお見せします！

1枚目の写真は、ナシの木の全体を撮ったものです。

たくさん実がなっていたので、不用な実を全て摘果するのはとても大変でした。



2枚目の写真は、ナシの実を撮ったものです。

この写真はすでに摘果し終わったものですが、ご覧の通り大きな実がたくさんなっていました。



3枚目の写真は、ブドウの木の全体を撮ったものです。

ブドウもたくさんの実がついています。



4枚目の写真は、ブドウの実を撮ったものです。

ブドウの摘果は6月から7月にかけて行います。

5・6枚目の写真は、果樹園の工事の様子です。

果樹園のほとんどが工事によりなくなる予定です。

授業では、果樹の先生が毎回行う作業の意味や、ポイントなどを詳しく、そして分かりやすく教えてくださいますので、しっかりと理解でき、とても勉強になっています。

これからも農業の担い手になれるよう頑張りたいと思います！

(3年生物資源科・農業委員)